

幼兒の玩具

牛 島 義 友

一 目 的

遊びは子供の生活のすべてである。大人に取つては遊びは氣分轉換、休養、精神の淨化、所謂リクリエーションであり、仕事の世界から離れた非現實的な世界である。所が子供には遊びが現實の世界であり、彼等の仕事である。遊び以外の子供の生活とは睡眠とか食事位である。否、食事も彼等には最も樂しい遊び事である。遊びを通してのみ子供の生活を知る事が出來、又遊びを通してのみ子供を適當に教育して行く事が出来る。此の意味で遊戯の研究は兒童學に於て中樞的位置を占めるものである。

此の子供の遊戯は主として玩具を用ひてなされる。後述する如く幼兒の自由遊びを觀察し、如何なるものを遊び道具として居るかを見る三つの三分の一は玩具名の付くものであつた。之は中流階級の子弟の結果ではあるが、如何に彼等は玩具を以て遊び、玩具を中心として生活して居るかを示すものである。故に玩具の研究は兒童心理學者、幼兒教育家の必然の義務となつて来る。

子供に則して適當な玩具を與へてやる事が最良の教育である。此の研究は子供の爲の標準玩具を選定せんとして行つたものである。子供の爲の標準玩具としては既に内外に幾多の研究がなされて居り、多くの玩具が推薦されて居る。併し之等の中には學者の机上の理論から選定されたり、永年の經驗と云ふ漠然とした根據によるものが多く、實證的根據に乏し

いものが多い。故に本研究に於ては不完全乍ら幼兒の玩具調査をなし、如何なる玩具を所有し、如何なる玩具を最も愛好するかを調べ、此の子供の興味に基づいて標準玩具を定める事とした。即ち如何なる玩具を如何程興へる事が適當であるかを年齢別、男女別に設定せんと試みた。即ち、カヴィンの云ふ「玩具の整つた獻立」を立てるのが目的である。

二 方 法

一二の女子専門学校生徒の去年の夏休みの仕事として自家或ひは知人の學齡前の幼兒に次の様な觀察をして貰つた。先づ、その幼兒（一人に限定する）が現在持つてゐる玩具を全部書立べる。同一種類の玩具でも一々枚舉する。例へば自動車三つあれば自動車、甲、乙、丙と云ふ風に記入する。次にその玩具の所有経路を調べ、父兄から購ひ與へられたか、他人から贈られたか、或ひは自分で作つたり集めたものかを調べる。次にその玩具に就いての子供の好惡の状態を調べて貰つた。即ち好きなものには○印をつけ、特に大好きで常に弄んでゐるものには◎印をつけて貰つた。此の◎印をつけた玩具を特に重要視して行く。

次にその子供の自由遊びを一時間連續觀察して如何なる遊び道具を以て如何なる遊び方をしてゐるかを觀察記錄して貰つた。（此處では遊び道具の方のみを調べ、遊び方の方は別個の研究にまごめる事にした）。

此の研究は廣く玩具の調査をするのではなく、標準玩具を選ぶ爲に標準的幼兒について調べる事にした。即ち中流知識階級の子弟を標準とした。即ち調査した幼兒の親の職業を見るに會社員、官公吏、商人、専門的職業、教師、等が主であり、又都會地の者が大部分で、農村は少數である。地域は關東地方が大部分であるが全國に散在してゐる。子供の數は二百四十六名で、年齢別の數は第一表に表示した。此の數は不充分であるが、大體の傾向を推知する事が出來やう。（表には十名の一歳未満兒は其他とした）。

三 結 果

I、遊び道具

前記の自由遊びの一時間連續觀察の結果を整理して見るに種々のものを用ひて遊んでゐるが、その中玩具二名の付くものは第一表左欄に示す如く平均六十八・五%を占めてゐる。その他のものとしては家具、有用の雑品、無用の雑品、生物がある。例へば家具としては椅子、座布團、テーブル、茶籠筈、ミシン、柱、障子等を對手にしたり、有用雑品としては物差、金盤、圓扇、匙、懷中電燈等の家庭用具、不用雑品としては、空箱、棒切れ、板切れ、口金、等あらゆる不用品を玩具としてゐる。その他犬、猫、さんぽ、かに等の生物もよい玩具となつてゐる。斯る所謂玩具以外の玩具が幼児の遊戯に重要な位置を占める事は認めねばならぬが、之から逆に子供はそこら邊の有合せのもので面白く遊ぶから殊更に玩具を與へなくても好いと論ずるのは正しくない。農村或ひは貧困階級の者ならいざ知らず、中流階級の子供は玩具を重要な遊び道具としてゐる。

II、玩具數

次に彼等は幾何の玩具を持つてゐるかを調べるが、第一表中欄に示す如く、平均二十九個の玩具を持つて居り最も少なき者は六、七個、多いものは六十個以上に達してゐる。(尙繪本丈は何冊あつても一つとして計算した)。

此の玩具數は年齢に於て多少相違し、四歳児が最も多い。之は幼兒期の玩具は更に幼兒前期と幼兒後期的のものに別れる事が出來、四歳はその移行期である故に兩方の玩具がある爲に數が多くなつてゐる様に思はれる。

此の玩具數は子供の家庭的環境、即ち一人子、或ひは長子等、それ以外のものと比較して幾分大差ない。即ち前者七八名の平均玩具數、二十九・四に對し、後者百五十二名の平均は二十九・三五となつて居る。

第一表

年齢	幼兒數			玩具平均數			自由遊びに於ける玩具の%
	男	女	計	男	女	計	
年月 年月							
1:0—1:11	19	16	35	24.0	17.9	21.2	62.8
2:0—2:11	19	20	39	28.1	26.2	27.2	63.5
3:0—3:11	27	34	61	34.0	28.3	30.8	69.6
4:0—4:11	23	19	42	31.7	36.2	33.7	78.8
5:0—5:11	17	21	38	27.3	30.3	29.0	68.1
6:0—6:11	12	9	21	30.0	32.6	31.1	72.7
其他 計	4	6	10	29.6	28.5	29.0	68.5
	121	125	246				

尙斯る玩具數の總數は家庭の經濟關係によつて相異する。大羽氏の研究による、農村兒童の平均は六個位であり、之に對し、東京市内の某師範附屬關係では二十八個になつてゐる。

III、玩具の種類

こゝに枚舉された玩具は實に種々雜多であつて少くも一人以上の者が持つてゐるもの丈でも三百四十種位に上る。故に之を適當に分類する必要がある。

玩具の分類には種々の方法があり、所謂心理學的分類としてはその玩具の持つ心理的機能から分類される。例へばガラ／＼は聽覺及び美的感情を養ふ玩具等がされてゐる。併し子供は此のガラ／＼をふり廻して運動機能を養ふ事も出来るし、小さい乳兒ならばガラ／＼の動く方向を注視する事によつて注意力を養ふ事も出来る。玩具の持つ機能云々が效能とか云ふものを數へて見れば仁丹の廣告の如くにあらゆる性質を擧げる事が出來る。故に此點から一義的に分類する事は困難である。而して又今日の心理學に於ては以上の如く心的要素を數へ立てる事は無意義されてゐる。子供はガラ／＼を以て生活して居るので、いはゞガラ／＼的生活をなしてゐる。此の全體的な遊び方、生活の仕方を問題として行かねばならない。此の爲に玩具を所謂心理學的述語に翻譯して分類するよりも玩具そのものが適當である。此の點では倉橋先生の分類が最も適當と思はれるから之に則る事をした。故に以下の説明

に於ては先生の著書「玩具教育篇」、(玩具叢書)を参照されん事を希望する。

男女合計の、年齢を無視した玩具の分類をなす第二表の如くなる。表には各類型に於ける種類數、玩具數、其百分率、並びに其順位を示した。即ち最も數多いものは自動車類、動物玩具、學習玩具、人形、練習玩具等である。併し之等の玩具は年齢によつて相異する故に以下年齢別、男女別に略述して行き度いと思ふ。

二 同順位
同% 玩具數 種類數 第二表

		種類數	玩具數	同%	同順位
10	102	1.9	16		
3	44	0.8	17		
7	39	0.7	18		
20	349	6.5	7		
6	38	0.7	18	2	
30	499	9.3	4		
27	434	8.1	6		
36	376	7.0	1		
23	636	11.9	9		
18	309	5.8	11		
27	269	5.0	15		
10	109	2.0	10		
10	293	5.5	4		
23	433	8.1	12		
10	201	3.8	8		
15	334	6.3	13		
12	192	3.6	3		
25	469	8.8	20		
3	23	0.4	14		
27	189	3.5			
342	5338				

IV、各玩具の説明

前節に於て分類した各玩具の一々に就いて男女別の年齢的變化を調べて見る。

即ちその所有數の變化、並びに好みの状態を調べる。先づ各玩具類型の中に含まれる各種の玩具を列舉した。之は一人以上が所有してゐるものである。

次に年齢的變化を圖示する爲に各年齢児の所有する當該玩具の總數をその年の

人數で除した値を以て曲線を描いた。例へば動物玩具は一歳男子は合計七十個持つて居るが之をその人數十九名で割つた三・六八をその年の指數とし、二歳男児は合計四十九個持つて居るのでその年の人數十九名で割つて一・五八を得る。同様に三歳男児では二・九三、四歳男児は一・四三、五歳男児は一・三五、六歳男児は〇・七五の指數を得てゐる。此の指數を連續させて曲線を描いた。此の指數が一である事はその年齢の者が平均一個持つてゐる事になり、指數が二であれば一人平

均一個持つてゐる事を意味する。

斯る曲線を男女児別々に描いた。即ち實線は男児、點數は女兒の曲線である。尚好みの程度も同様の方法で曲線にした。即ち細い線は好みを現はし、太い線は所有數を現はす。

圖の横軸は満年齢を示し、縦軸は玩具所有指數を示す。

ガラ／＼類、おしゃぶり、がら／＼、打出の小槌、ゴム風船、ゴム蜜柑、風車、旗、薬玉、木製果物、重ね林檎、

此の中にはガラ／＼をはじめ、手に持つて動かしたりいちくつて遊ぶものを一括した。視覺、運動感覺的要素の勝つたもので、乳兒期には非常に愛好されるが、長ずるに及んで餘り顧みられない玩具である。

起き上り、起き上り人形、玉乗り人形、達磨、

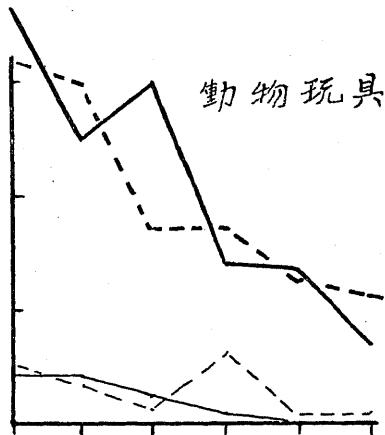
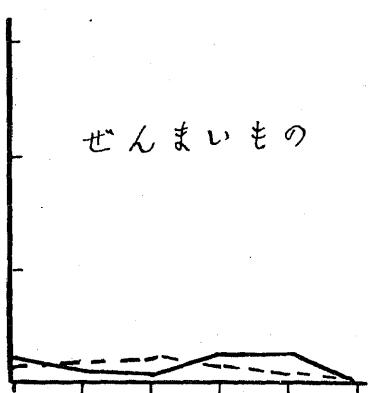
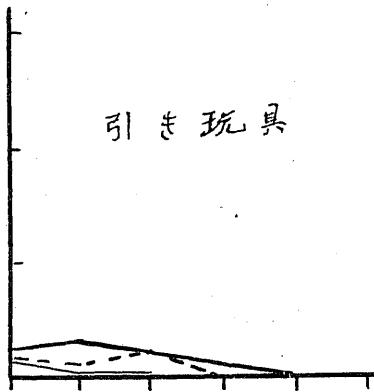
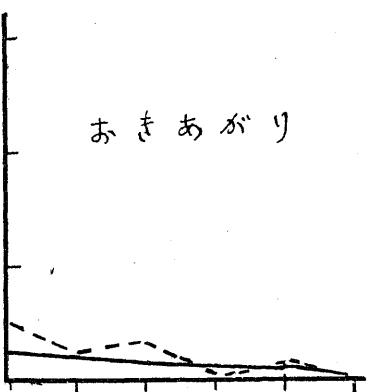
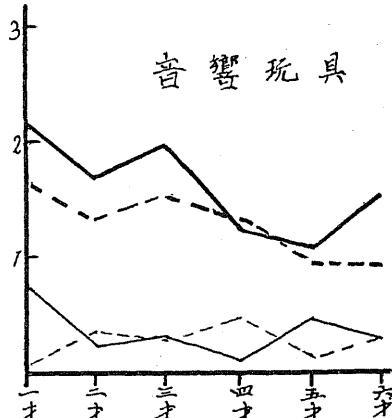
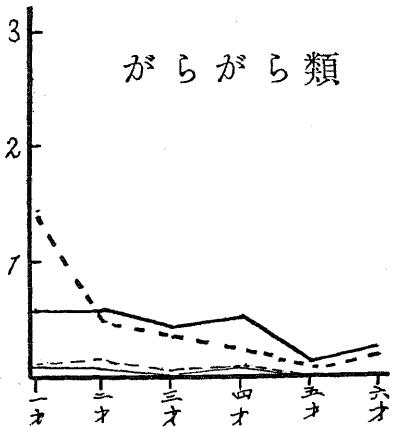
之は匍匐期に適した物云はれて居るが、幼兒期に於ては大して問題にならない玩具である。

せんまい物、自動車乗人形、チンドン屋、體操人形、ダンス人形、猿と臼、首振り人形、動物たり臺、

此の玩具は夜店等にも並べられ、大人が土産によく買つて歸るが、子供は餘り有難がらない玩具である。ひとりでに動くのを眺めるのは子供の性に合はない。自分で動かして見なければ承知出来ない。所が子供がいちるご直ぐ破損してしまふので子供に長く顧みられない。

音響玩具、鈴、太鼓、風鈴、ガチャン、喇叭、笛、ハーモニカ、法螺貝、卓上ピアノ、オルガン、シロホン、手風琴、琴、大正琴、三味線、タンバリン、蓄音器、レコード、レコード繪本、音樂獨樂、

此の玩具は豊富な種類がある丈に各年齢を通じて相當に所有し且つ愛好される玩具である。只音響を發して喜ぶものから旋律を奏して美的情操を養ふ物迄ある。年上の幼兒にはオルガン等を與へて玩具の世界から音樂の世界に移したいもの



である。

引き玩具、兎車、犬車、ひよこ車、車付きの鳥、車付馬、押車、引き人形、歩行が確かになるごとを引き歩いて楽しむ。此の種の玩具は年少の者にのみ相當に好まれる玩具である。そのデザインが主として動物である事は次の動物玩具とも關係する幼兒の動物愛好性から来る。

動物玩具、兎、犬、犬張子、熊、馬、猿、象、キリン、虎、獅子、驢馬、猫、鼠、栗鼠、鹿、牛、動物アパート、鶴、ひよこ、あひる、スワン、おしどり、鳩、魚、金魚、鯉、鯛、蛙、龜、蛇、

子供は何故動物を好むか？問題にされる程動物を好む。併し此の傾向は年少者に特に多くて段々減少する。その持つて居る動物はいはゞ子供の知る限りの動物が含まれる。併しきり分け兎、犬、が愛される。此動物玩具を男女共に愛好して居る點は次の人形類ご趣を異にして居る。

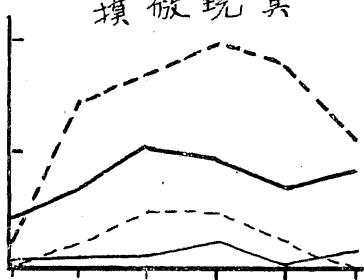
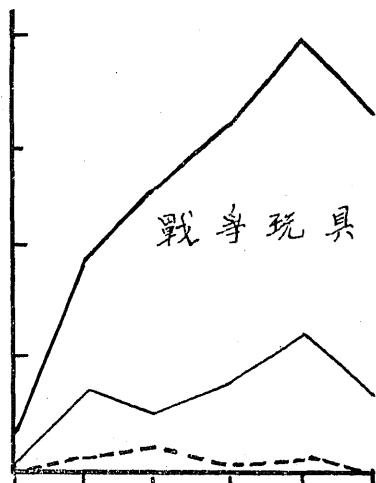
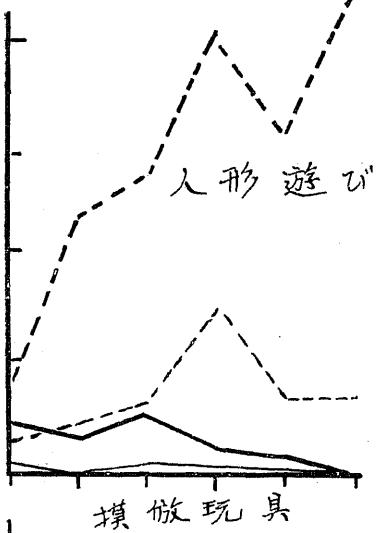
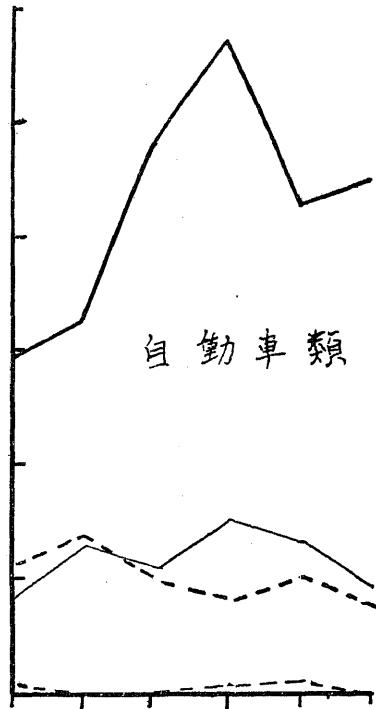
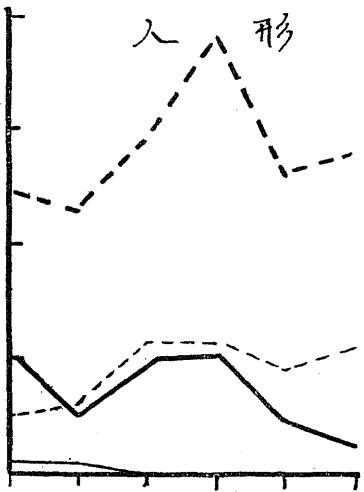
人形、布人形、縫ひぐるみ人形、ゴム人形、セルロイド人形、木製人形、兵隊人形、キューピー、ピエロ、黒人坊人形、瀬戸物人形、土人形、日本人形、五月人形、雛人形、七福神、ノラクロ人形、ミッキー、サンタクロース、西洋人形、ママー人形、眠り人形、メリーアン人形、組立人形、

紙人形、姉様人形、着せかへ人形、京人形、

人形遊び、人形遊び一式、小布、人形着物、同帽子、履物、人形の首、

飯事道具、臺所道具、茶道具、皿、スプーン、茶碗、コップ、鍋、釜、まな板、庖丁、重箱、岡持ち、洗濯道具、洗面器、家具セット、椅子、卓子、座布團、寝具、簾筈、茶簾筈、戸棚、鏡臺、鏡、扇風器、簪、花瓶、乳母車、人形シーソー、

人形並びに人形遊び道具は女兒の玩具である事は云ふに及ばぬが、實に女子の遊戯に於て中心的のものである。年少の



者は只人形をいぢくる丈であるが、三、四歳になるご想像を動かさせて人形と共に遊び、空想の世界に没入する様になる。併しこの世界は現實をのり超えた世界ではなく現實模倣の世界である。即ち大人の世界の模倣である。従つてそこにはあらゆる種類の人間の模造があり、日常の家具調度の模型が見られる。

自動車類、自動車、豆自動車、電車、汽車、トラック、バス、機關車、電氣機關車、レール付汽車、同電車、貨車、消防自動車、撒水自動車、車、馬車、自轉車、三輪車、オートバイ、サイドカー、飛行機、飛行船、船、ヨット、ボート、

戦争玩具、軍艦、タンク、装甲自動車、鐵砲、ピストル、空氣銃、機關銃、大砲、刀、サーベル、木刀、軍帽、鐵冑、背囊、肩章、勳章、軍配團扇、軍旗、

女兒の人の形に對應するものは男兒の自動車、戦争玩具である。こゝに始めて男女による相異が顯著に現はれて居る。女兒が人形を持つて母親の家内的仕事を模倣するに對し、男兒は自動車を驅して戶外的生活を模し、彼等の輝しい未來たる軍人の眞似に夢中になる。

模倣玩具、車掌ごっこ、汽車遊び、郵便遊び、時計、電話、懷中電燈、面、操り人形、紙芝居、

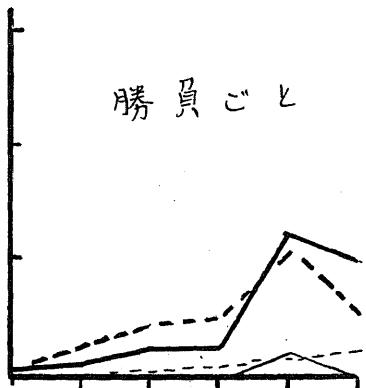
指環、首飾り、腕環、下駄、目鏡、傘、團扇、提灯、バスクケット、かばん、ランドセル、リュックサック、ハンドバック、手提げ、袋、風呂敷、財布、腰下げ、

此の中には社會生活を模倣する「何々ごっこ」云はれる物、個人生活に必要な身の廻りの小間物の模倣が含まれる。後者は主として女兒に愛用される。此の種のものは前の人形類と同様に四、五歳を中心として最も好まれる玩具である。

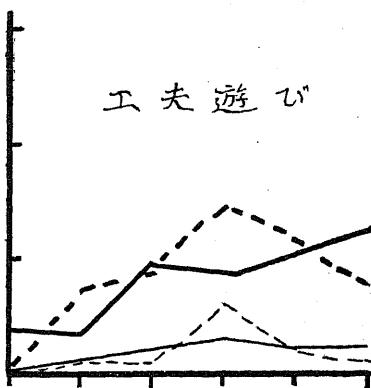
勝負事、メンコ、将棋、ビー玉、かるた、双六、トランプ、ダイヤモンドゲーム、競馬遊び、おはじき、石けり用蠅石、

こゝでは技術の上達よりも勝敗の方に興味のある玩具を集めた。斯る勝敗は五、六歳にならないご充份興味が湧かないらしい。

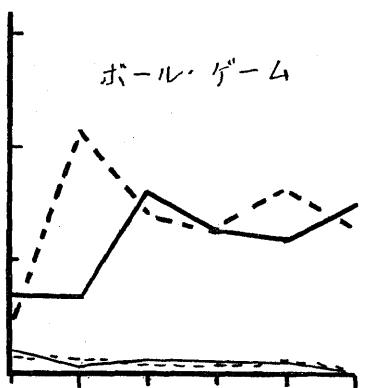
勝負ごと



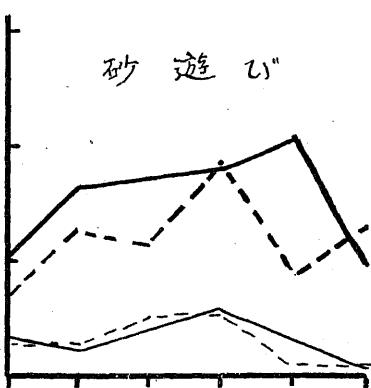
工夫遊び



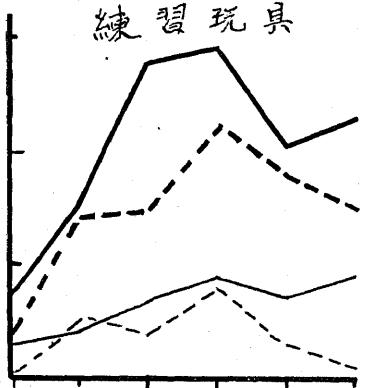
ボールゲーム



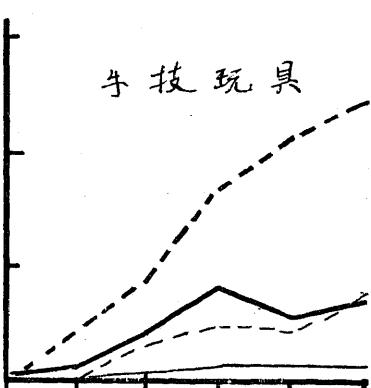
砂遊び



練習玩具



手技玩具



ホールゲーム、鞠、ホール、輪投げ、達磨落し、射的、野球用具、ラケット、ピンポン、コリントゲーム、羽子板、

ボールを投げたり、的に中てたり、或ひは道具を使つて鞠を投げ合つて楽しむやうな玩具を一括した。之も勝敗を争ふが併し勝つ爲には技術の上達が重要であり、又技術自身に興味のあるやうなものである。何等の努力を拂はず投機的の事によつて勝負を争ふ事は甚だ好ましくないが自己の努力、技術の上達に基く勝負争ひは寧ろ獎勵すべきであらう。又子供自身も好んで此の種の遊びをしてゐる。

練習玩具、風、獨樂、ヨーヨー、ジャボン玉、魚釣り道具、魚釣り遊び、蜻蛉捕り棒、せみ取り網、お手玉、風船、ほゝづき、
辻り塗、木馬、ブランコ、シーソー、三輪車、乗用自動車、自転車、竹馬、スケート、浮き袋、拳闘用具、繩飛び。

之は練習の結果、勝負を争ふ事は殆どなく斯る遊びをする事自身が面白く而もその結果運動機能の練習になる、教育的に見て最も好ましい玩具である。子供も又非常に好み、殊に運動機能、筋肉調節の發達する三、四歳の頃から最も好まれて來る。

工夫遊び、積木、組立家屋、組木細工、繪合せ、はめ繪、字合せ、數字合せ、動物合せ、五目並べ、旗遊び、

積木、こそ是最良の玩具として多くの學者から推賞されてゐる。又以上の玩具の中でも積木が最も多く好まれて居る。之に對し、繪合せ、字合せの類は此の年齢に於てはさほど好まれて居ない。此の種の玩具は實際的知能を發達させる點で有效である故にその製作に注意を拂ひ、子供に興味を抱かしめる必要がある。

砂遊び、水遊び、水遊び道具、バケツ、如露、水鐵砲、ポンプ、水まき、噴水、手桶、槌杓、

砂遊び道具、砂場、砂車、スコップ、シャベル、砂ふるひ、砂こび、箱庭道具、

水遊び、砂遊びとは趣きが異なる。前者は水をかき廻し、はね返していはゞ好奇的な楽しみを與へるもので、後者は砂

を以て色々の形を創造したり、川やトンネルを作つて、想像の世界を開いて行く。之等の玩具は低年齢から三、四歳までの者が特に好んで居る。

手技玩具、粘土、色紙、折紙、千代紙、ビーズ、豆細工、キビガラ細工、切抜き、鉄、貼繪、塗繪、寫し繪、此の種の玩具は女兒が特に愛好し、而も年齢と共にその傾向が著しく増加して行く。以上の中でも塗繪、色紙が最も多く好まれてゐる。粘土類は自由に形を構成する事が出来て最も適當な玩具であり、外國の研究では極力推薦されてゐるが、吾々の幼兒の中には粘土を特に好んだものはない。之は適當な快適な粘土が與へられない爲である。

學習玩具、鉛筆、クレヨン、色鉛筆、チャーチ、筆入れ、紙、畫用紙、ノート、畫帖、石板、黒板、ゴム消し、計算器、算盤、望遠鏡、蟲目鏡、活動寫眞器、寫眞器、日光寫眞、磁石、秤、本、繪本、漫畫、小學教科書、

此の玩具は年齢と共に著しく増加し而も子供は大層好む。彼等はクレヨン、鉛筆を貴重品として扱つてゐる。又繪本は玩具の中に入れるのは變であるが、非常に好むもので大人の想像以上に喜ぶものである。

好奇玩具、びっくり箱、びっくり人形、花火、

之は適當の項目がないので別個に取扱つたが、教育的には無價値の玩具である。

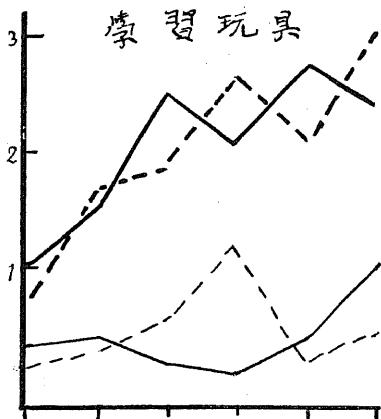
雜、以上その他に尚子供の玩具箱の中には色々の而も子供に取つては大切なものが入つてゐる。之を雜として取扱ふ。

之は圖には現はさなかつたが平均一つ位宛は持つてゐる。此の中には次の様なものがある。
箱類、玉手箱、裁縫箱、蟲籠、花籠、貯金箱、

是等は玩具として店頭に並んでゐる種類である。

物品、繪葉書、造花、貝細工、カレンダー、ござ、木槌、その他種々の家庭の雑品

學習玩具



不用物、空箱、空鐘、空瓶、反物棒、木片、石、瓶の口金、古切符、包紙類
は等の中でも空箱類を非常に大事にしてゐる。

V、概括

以上の諸玩具を更に概括する意味でその主要特徴から感覺的玩具、想像的玩具、運動的玩具、知能的玩具に別けて見る。
感覺的玩具 ガラク類、起き上り、せんまいもの、音響玩具は主として視覚、聽覺、運動感覺等の感覺的機能を刺戟して楽しむ玩具である故に一括してその年齢的傾向を眺める。圖には前のものよりも目盛を粗くして示した。之は他の種類の物よりも數少く年齢と共に減少する傾向がある。故に此の種類のものは幼兒前期に適するもの云へやう。但し音響玩具の中の樂器的なものは年と共に好まれて行く。

運動的玩具 引き玩具、勝負事、ボーリング、練習玩具は主として全身或ひは筋肉の運動と關係のある玩具であり、是等の玩具を楽しむ事によつて身體發育に役立つものである。此の種のものは二歳頃から一様に好まれて居る。

想像的玩具 動物玩具、人形、人形遊び、自動車類、戦争玩具、模倣玩具は想像の世界に耽り、擬人化によつてすべてのものを自分の遊び相手とするアニメズム的生活、或ひは大人の模倣をして非現實的生活を楽しむ玩具である。此の種のものは幼兒の心性に適ふ故に最も多く與へられ、又最も多く好んでゐる。就中三、四、五歳の幼兒中期に於て數多く持つてゐる。

知能的玩具 工夫遊び、砂遊び、手技玩具、學習玩具は實際的知能と關係したり、學習の補助となる類の玩具である。之は年齢の進むと共に所有數も興味も増加して行くものであり、次の兒童期に於ては一層愛好されんとする傾向を示してゐる。

四 標準玩具

三〇

以上の玩具調査によつて子供は如何なる玩具を愛好するかを知る事が出來た。此の結果から子供に與ふる適當な標準玩具を定めて行き度いと思ふ。標準玩具を選ぶに當つては次の三原則に従つた。

一、幼児の興味を重視する事。

二、幼児の自然の傾向に對し教育的指導をなす事、

三、性格の調和的發達を計る事。

幼児の興味 ベイゴマ、メンコ類を除けば子供に與へて悪い玩具は殆どない。所謂不良玩具とは玩具の種類に就て云はれる事ではなく、その玩具の製作狀態に就て云はれる事である。例へば壊れ易いとか、危険であるものが不良玩具である。故に斯る個々の性質を無視して一般的に云へば子供に與へて悪い玩具はない。故に問題は子供がその玩具を好むか否かにある。子供の興味に適つた玩具のみが子供の生活を捕へ、従つて優良な玩具となる。

前節の調査によつて各種類の玩具が如何に好まれ、その年齢的消長が如何なるものであるかを知つた。又一々報告しなかつたが個々の玩具に就てもその興味の狀態を調べる事が出來た。此の材料から子供が最も好む代表的な玩具を選定して表示した。(幼兒用標準玩具一覽表)是等の玩具は多くの子供から最も好きなものとして◎印をつけられたものである。

教育的指導 子供の興味はいはゞ子供の自然の傾向であり、極力尊重すべきものであるが之に適當な指導を與へる事は教育者の任務である。子供の興味に逆らつて指導するのは不都合であるが、興味に則し乍ら指導するのは賢明である。

前節の結論として感覺的玩具は年と共に減少し、運動的玩具は變化なく、想像的玩具は四、五歳頃特に好まれ、知能的玩具は年と共に好まれる事を知つた。是等の傾向に對して適切な教育的調節を加へた。即ち感覺的玩具は幼兒前期にのみ

與へ、幼兒後期に於ては藝術的世界に進むやうに導き、標準玩具の配當を加減した。運動的玩具は各年齢を通じ出来る多く當てがふやうにした。想像的玩具は幼兒の空想の世界を豊富にし、情操教育に資するものではあるが餘り長くこの非現實的世界に止る事は子供の精神發達の爲に好ましくない。故に此の種の玩具は三、四歳には豊富に與へるが、六歳児には出來る丈減するやうに努力た。之に對し、知能的玩具は精神發達に最も好ましき玩具である故に豊富に與へ、年齢による興味増加の傾向に一層拍車を加へるやうにした。

性格の調和的發展 子供の興味云ふよりも大人の趣味から特殊な玩具、例へば自動車のみを色々蒐集して與へるるものがある。併し斯る偏した與へ方は偏食の場合と同じく精神に完全な營養を與へる事は出來ない。玩具の獻立にはあらゆる營養素が適當に混和されなければならぬ。此の爲に標準玩具の表には標準玩具數を指定した。例へば滿一歳の男子には十八個位の玩具が適當であり、その内譯として表中の數字に従つて各種の玩具を與へるやうに立案した。

尙此の標準玩具數は中流階級の玩具の平均所有數から定めたものである故に一般の父兄に對しては經濟的な負擔を殊更にかけるものではない。此の位の數を標準として子供を玩具の貧困から救つてやり、又餘りに多くの玩具を亂雜に與へて子供の興味や注意を散漫にする事から防ぎたいものである。

附則 以上一般原則から標準玩具を制定して一覽表を作成したが、尙之を活用するに當り、表の注意項目を守られ度い。之には子供の個性に則する事と有害な玩具をさける事を特に注意した。

註

標準玩具を定めるに當つては次の書を参考とした。

關寬之著、玩具と子供の教育、昭和五年

倉橋惣三著、玩具教育篇(玩具叢書)、昭和十年

有坂與太郎著、日本玩具史篇(玩具叢書)昭和九年
酒井欣著、日本遊戲史、昭和八年

C. G. Garrison: Permanent Play Materials for Young Children, 1926

H. Lehman and P. Witty: The Psychology of Play Activities 1927

D. van Alystyve: Play Behavior and Choice of Play Materials of Pre-school Children 1932

E. Kawin: The Wise Choice of Toys 1934

J. E. Rogers: The Child and Play 1932

尙本標準玩具一覧表を多數御希望の方は實費にて御頒ちします。東京市杉並區中通町八一筆者宛申込の事。

今夏の講習に就いて

從來隔年に東京に於いて開催せられておりました文部省主催の保育講習が、今年も東京女子高等師範學校にて開かれる事になりました。文部省當局の御配慮は、斯道發展の爲に誠に有難く、喜ばしい事と存じます。一人でも多數の方の御聽講を希望してやみません。

聞くところによりますと、その期日は七月二十一日より二十七日迄七日間、保育の問題を倉橋氏、手技を及川氏、保育の實際について新庄氏、幼兒發達検査法を淡路氏、幼兒保健問題を野津氏が各々擔當せられる由であります。

詳細については七月初旬の官報に發表されおらず、本誌來月號にてもお知らせ致します。聽講希望の方で手續が後れる事なきませんから今から各地方廳へお申し込み置きになるのが御便利か存じます。

- (注意) 本表によつて玩具を選ぶ場合の點を注意されし
 (1) 子供の個性に留意して適當に加減する事、即ち發育の遅速、
 性質、興味に應じて變更する事。
 有害不潔のものは避ける事、例へば有毒の染料を用ひたもの、小さく口に入れる危険のあるもの、ガラスや粗製のぶりき製のものは避け、又引火性のセルロイドは注意する事。
 壊れ易いものは避ける事。
 (4) 色彩、形狀の醜惡、恐怖的なものは避ける事。

(備考) 表中の數字は標準玩具數を示す。數字の次の玩具名は代表的な玩具を示したものである。
 { を附けたものは男女共通に適したものであり、{ より上のものは男兒に、下のものは女兒に特に適した玩具である。+ の附號をつけたものは前年齢の玩具に更に加ふ可き玩具である。

幼兒用標準玩具

(牛島義友案)

標準玩具數	がらく類	あきあがり	音響玩具	引き玩具	動物玩具	人形	人形遊び	自動車類	戦争玩具	勝負ごと	ボーリング	摸倣玩具	練習玩具	工夫遊び	砂遊び	手技玩具	學習玩具	繪本
一歳以前	男10 女10 3	くす玉 風車 おしゃぶり ガラガラ オルゴール	達磨 おきあがり	太鼓 ラッパ	兔車 大車	犬 兎 熊 鳥 金魚	2 ゴム人形											
満一歳	男18 女18 1	ガラガラ オルゴール 風車	達磨 おきあがり	太鼓 ラッパ 笛 シロホン	兔車 大車	犬 兎 熊 馬 象 鳥 金魚	1 { デュビー ママ人形 ゴム人形 布人形	3 自動車 電車 飛行機 船		1まり		獨樂 木馬 押シ車	1 { 積木	1 ポンプ バケツ 如露 シャベル		2 紙 ノート 鉛筆 クレヨン	3	
満二歳	男25 女25 1	風車 ゴム風船	達磨 おきあがり	太鼓 笛 シロホン 蓄音器 卓上ピアノ	兔車 大車	同 上	1 兵隊人形 キュビー ママ人形 姉サマ人形	4 自動車 電車 船 飛行機 トラック オートバイ	2 鐵砲 刀 軍帽 タンク	2まり	1かばん ボール ハンドバック	2 獨樂 木馬 三輪車 自轉車 ブランコ 辻り臺 お手玉 紙風船	1 { 積木	1 同 上	3 同 上	5		
満三歳	男28 女28 1	ゴム風船 ゴム製葉物 旗		太鼓 ラッパ ハーモニカ オルガン 蓄音器 卓上ピアノ	同 上	2 同 上	1 兵隊人形 キュビー ママ人形	5 同 上	3 同 上	2 ボール まり 輪投げ だるま落し	2 かばん バスケット 時計 電話 ハンドバック	3 帆 + 同 上	1 { 積木 繪合せ	2 同 上	1 塗繪 粘土 色紙 千代紙 キビ ガラ絵工	3 同 上	5	
満四歳	男31 女34 1	旗		太鼓 ラッパ ハーモニカ オルガン 卓上ピアノ	同 上	1 同 上	1 犬 兎 熊 金魚	6 同 上	3 同 上	2 同 上	4 同 上	2 積木 繪合せ 組立家屋	2 同 上	1 同 上	4 同 上	5		
満五歳	男28 女30 1			太鼓 ラッパ 卓上ピアノ オルガン	同 上	同 上	熊 猿	5 同 上	4 同 上	1 将棋 { トランプ おはじき かるた	2 同 上	3 獨樂 三輪車 自轉車 辻り台 ブランコ 魚釣り遊び お手玉 繩飛び 風船	3 同 上	2 同 上	4 同 上	8		
満六歳	男28 女28 1			ラッパ (蓄音器) 卓上ピアノ オルガン	同 上	同 上	同 上	4 同 上	3 同 上	1 将棋 野球盤 家族合せ おはじき かるた	3 同 上	3 スケート + 同 上	4 同 上	1 同 上	2 同 上	5 同 上	10	